

平成30年6月7日

智頭町議会

議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員 國 本 誠 一

〃 大河原 昭 洋

〃 高 橋 達 也

〃 岩 本 富美男

〃 岸 本 眞一郎

〃 大 藤 克 紀

〃 谷 口 雅 人

議 員 派 遣 結 果 報 告 書

平成30年5月7日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

- 1 派遣名 議会報告会
- 2 目的 智頭町議会基本条例第5条の規定に基づく議会報告会
- 3 派遣場所及び期間
 - (1) 智頭町福原 19 番地 「山郷地区公民館」 平成30年5月23日
 - (2) 智頭町智頭 2076 番地 2 「智頭町総合センター」 平成30年5月24日
 - (3) 智頭町郷原 259 番地 「山形第一地区公民館」 平成30年5月25日
- 4 概要 別紙1～3のとおり

別紙 1

平成30年度 議会報告会結果概要（山郷地区）

- 1 日 時 平成30年5月23日（水）19：00～20：30
- 2 出席議員 國本、大河原、高橋、岩本、岸本、大藤 6人
- 3 参加者数 13人（男13人、女0人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（約30分）後に意見交換

（1）質疑応答

火葬場について

問 存続するのか東部広域へ加入するのかの判断に、詳しい経費比較を示してほしい。

答 施設の視察調査や町執行部からの情報提供をもとに整理していく。

問 個別の団体等への意見聴取以外に、議会として町民の声をどのように聴いて判断するのか。

答 今回の議会報告会の中での意見聴取や、議員個々が町民に意見聴取するが、統計的な整理は困難なため、概括的な整理となる。

今後、町執行部との意見調整する中で、2回目の説明会の開催やアンケート調査の実施について提起することも考えられる。

問 存続する場合は、現在地となるのか。

答 決まっていないが、そうなる可能性はあると思う。他に適地があれば検討することになる。

問 現状で、家族の希望で東部広域での火葬は可能か。

答 可能だが、智頭町は東部広域へ未加入のため、火葬料が約6万円必要となる。
（注：町営火葬場 20,000円、東部広域 57,000円）

問 （議員から参加者へ）

本日出席された皆さんは、現段階ではどのような意向か。

答 東部広域加入にこだわり無し（1人）、存続を希望（12人）

問 議会で視察した施設は豪華な施設だと思う。存続する場合は必要最低限の施設でよく、建設費も安くなる。

答 議会も同様の意見だ。

問 東部広域に加入している地域の中で、遠隔地となる鳥取市青谷町や若桜町の葬儀日程の現状はどうか、議会として調査してほしい。

（→調査することとした。）

育みの郷について

問 議会が当初予算を減額修正したが、今後どのような展開になるのか。

答 執行部が、今後の定例会でどのような内容を提案するのかを待ってからの判断となる。

問 議会から対案を提示すべきではないか。

答 議会は当初計画どおりの実行を促している段階だ。

問 建物が古いので、屋根の改修だけは先行実施すべきではないか。

現状のままで何もしない状態が続いた場合、投資（建物を購入）した経費の利息は町民に返してもらえるのか。（投資した経費がもったいないとの趣旨）

答 屋根を改修しても、中身の使い方がはっきりしないまま活用されないのでは意味がない。

当初計画の産婦人科医師の確保が滞っており、産前産後ケアとしての活用についても、町内を含めて利用者がどれくらい見込めるのか不明。

中原の古民家に固執せず、他に使える施設の再検討も必要で、もっと安く使える施設があればとの思いもある。

移住定住施策について

問 今後の施策について議会はどう考えているのか。

答 議会としての統一見解は整理していない。個人としての見解となるが、これまでの施策で一定の成果は上がっているが、人口減少傾向にあるため、施策の見直しは必要との認識。

「人参ぶらさげ作戦」は疑問を感じている。

問 移住者には手厚い施策という感じがするため、今住んでいる者への措置のためにも火葬場の存続議論が出ている感じもする。町内の各種施設の維持の問題もあり、要は将来的に町民がどう満足するのかということではないか。

答 病院があるのは智頭町の強みでもある。社会保障経費の削減や、病院経営の今後を含めてよく考えていかなければならない問題だ。

(2) 要望・提案

なし

別紙2

平成30年度 議会報告会結果概要（智頭地区）

- 1 日 時 平成30年5月24日（木）19：00～20：40
- 2 出席議員 國本、大河原、高橋、岩本、岸本、谷口 6人
- 3 参加者数 17人（男12人、女5人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（約30分）後に意見交換
（1）質疑応答

議会報告会資料の内容確認

問 P4の2の（2）付議事件等の「事件」とは。

答 議会用語であり一般的でないが、件数を表示している。

問 P5の表中、輝くまちづくり調査特別委員会の開催日数が「0日」となっているのはなぜか。

答 閉会中に視察を2日行っているが、わかりにくい表となっている。

問 P13からの予算に「計」がないのはなぜか。

答 主要事業を列記しており、これ以外の予算もあるためだ。

人口減による今後の町政の展望について

問 初めて議会報告会に参加したので、素朴な疑問に答えてほしい。

- ・現在の町人口と今後の減少傾向。
- ・人口が減れば税金等の町民負担が増えるのではないか。
- ・最低限の生活費はどの程度か。

答 人口は現在約7,200人で、22年後の2040年は5,000人。

（注：推計では3,870人だが町総合戦略の目標で5,000人）

今後は国からの地方交付税が減少していくことが予想されるため、一層厳しい財政状況となる。

最低限の生活費はそれぞれで異なるので、示すのは困難。

火葬場について

問 存続して建て替える場合の財源はどうなるのか。

答 起債と自主財源とになると思うが、起債がどのようなものが適用になるのか不明。

問 存続する場合は、ランニングコスト（維持管理費）、直営と業者委託の対比、東部広域に加入した場合は将来的にどうなるのかなど、正しい金額を提示してほしい。

答 整理していく。

問 議会として町民にどのように検討結果を報告するのか。ぜひ報告してほしい。

答 検討する。

問 下町などの意見はどのようにして聴くのか。

答 下町公民館に、下町、中町、錦町の役員さんに集まっていたき、議会が出向いて意見を聴く。

問 4月27日に視察した施設はどんな内容だったのか。

答 智頭町と同じ2炉の施設だが、待合室や告別式場があり、駐車場も広く、智頭町に存続して建替える場合には、必要最低限のものでよいと感じた。

問 (議員から参加者へ)

本日出席された皆さんは、現段階ではどのような意向か。

答 東部広域加入にこだわり無し(3人)、負担がどうなるのか不明なので判断できない(1人)、存続を希望(13人)

問 存続して建て替える場合、現在の施設を使用しながら1炉を新たに整備し、あとで2炉にするなど、様々なやり方があるのではないか。

答 今後の課題だ。

恋山形駅へのトイレ設置について

問 3月定例会で複数の議員が恋山形駅の活用について質問していた。

トイレ設置は必要と思うが、具体的に設置の可能性はどうか。

答 水の供給をどうするかが課題で、既存施設から配管するだけで数千万円を要する見込みだ。また、設置後の維持管理をどうするかの詰めが必要。駅に設置することに固執せず、大型バスの駐車場付近に設置することも検討課題だ。

(2) 要望・提案

選挙公報の発行について

町議選が無投票となったため、選挙公報が発行されなかった。町民としては、無投票となっても立候補者がどのような政見を示しているのか知りたいので、開示請求を行って入手した。今後、無投票となった場合に発行をどうするべきか検討してほしい。

(議員の意見) 立候補した者として、自身の考えを町民に知ってもらいたいため、無投票となっても選挙公報は発行してもらいたい。

郵便物発送の整理合理化について

夫婦2人で暮らしているが、がん検診の受診券が夫婦にそれぞれ1通計2通、さらに特定健診の受診券が同様に2通、計4通届いた。

特定健診は大きな封筒に受診券は1枚だ。

同じ時期に同じ課から郵送するのであれば、一つの世帯に1通にまとめて郵送すればよく、経費の無駄を改善すべきだ。

別紙3

平成30年度 議会報告会結果概要（山形地区）

- 1 日 時 平成30年5月25日（金）19：00～20：30
- 2 出席議員 國本、大河原、高橋、岩本、岸本 5人
- 3 参加者数 9人（男8人、女1人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（約30分）後に意見交換

（1）質疑応答

予算の内容について

問 新規の事業があれば廃止した事業もあると思うがどうか。

答 議会もそうした視点で審議しており、明らかにすべきだ。

問 旧那岐保育園下水道接続工事とあるが、現在営業している方が対応すべきものではないのか。

答 旧那岐小学校の企業誘致による利用者増加の対応も併せ持つものであり、一体として町が支援することになっている。

問 空き校舎等利活用実践事業補助金が新規とされているが、この事業は今までもあった事業ではないか。

答 既存の事業だが、今年度新たに、旧那岐小学校の空調設備と旧山郷小学校のゲストルームを整備するもの。

火葬場について

問 仏教会は東部広域への加入は否定的とのことだが、聴き取り結果はどのような内容だったのか。

答 久本町長時代から存続を要望しているとのこと、東部広域への加入により、時間的な制約が生じることにより仏事の支障、これに伴って宗教的関心や人のつながりが希薄することへの懸念、単独町政を選択したのだから存続すべき、というもの。

問 要は町にお金が無いから東部広域へ加入するということなのか。
本気で存続するのであれば、他の予算を減らして充てることが可能ではないのか。

答 町の説明会資料では、存続した場合は維持管理費が多くなるからという内容になっている。

問 町の説明会の中で、匂いに対する苦情があるということであったが、具体的にはどうなのか。

答 その後に町が議会に説明した際、匂いを原因として火葬場を撤退してほしい

との声は来ていないとのことであった。

問 （議員から参加者へ）

本日出席された皆さんは、現段階ではどのような意向か。

答 東部広域加入にこだわり無し（4人）、判断保留（1人）、存続を希望（4人）

問 東部広域へ加入したら、町内にある葬祭会館は無くなっていくことになるのではないか。

答 仏教会も関連業者の撤退につながることを懸念されていた。

問 東部広域へ加入した場合、時間的な制約が生じるため、若桜町や青谷町は実際にどのような状況なのか知りたい。

答 他の地区からも同様な意見を聴いたので、特別委員会で協議したい。

問 存続して新しく整備した場合、近隣町から智頭町の火葬場を利用してもらうような方法も考えられるのではないか。

答 意見を参考にしたい。

問 町の説明会資料はおおまかな内容だったので、よく整理してもう1回説明会を行ってほしい。

（→議会として再度説明会を行う方針）

新智頭図書館について

問 火葬場を存続することになった場合、財政的に厳しくなるので図書館整備に影響しないか心配だ。

答 住民ワークショップ（自主的な検討会）を経て、議会も同意してきた上で事業化されているため、影響しないと認識している。

（2）要望・提案

重要文化的景観（智頭の林業景観）について

林業景観として全国初の選定となったが、今後のどのように活用していく考えなのか。